

AJ

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine
Feb. 2024 100YEN

vol.
340

Special Feature

「ツクル」は楽しい!

【巻頭グラビア】

NATURE IN THE GLASS

ノスタルジア

ADA LAB Report Vol.01【新連載】
「ADA LAB UMEDA」

CREATOR'S VOICE Vol.01【新連載】
「Daichi Araki」

CLOSE UP JUNGLE PLANTS #06
LOVE ADA GOODS #18

ネイチャーコラム 第35回
「雪の自然造形」

〔ノスタルジア〕

どこか懐かしさを覚えるネイチャーアクアリウムを意図的に制作してみた。こうした長期維持によって生まれる水景には、自然の力強さを感じられるようになることが多く陰生水草が活躍する。シダやクリプトコリネをメインとしたネイチャーアクアリウムは、いい意味でクラシックな雰囲気を出すが、ここでは葉先が細かくわかれている獅子葉のマイクロソラム・ウエンディロフや岩場のブセファランドラで個性的な表現も加えている。いずれも流水や石に力強く活着し、時間経過とともに景観の魅力を深めてくれる水草であり、思い描いていた世界観を生み出しノスタルジックな気分にはさせてくれた。



©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2023年6月8日(ADA)
 制作 井上 大輔(レイアウト制作・文)
 水槽 キューブガーデン W1,800×D600×H600(mm)
 照明 ソーラーRGB ×3(1日8時間30分点灯)
 ろ過 スーパージェットフィルター ES-2400(ハイオリオG)
 素材 万天石、流木
 底床 トロピカルリバーソイル、アクアソイル-アマゾン Ver.2、
 パワーサンド・アドバンス L、バクター100、クリアスーパー、トルマリンBC

CO₂ バレングラス・ビートル 500、CO₂ビートルカウンターで
 1秒に8滴(タワー使用)
 AIR リリイパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
 添加剤 ニュートラルK、グリーンブライティ・ミネラル、
 グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
 換水 1週間に1度 1/2
 水質 水温25℃ pH:6.6 TH:50mg/L

水草 コブラグラス(BIO)*
 クリプトコリネ・バルバ(BIO)*
 クリプトコリネ・ウエンティ・グリーン(BIO)*
 クリプトコリネ・ウエンティ・ブラウン(BIO)*
 クリプトコリネ・ハランサエ
 エキノドルス・アングチフォリウス
 ブセファランドラ sp. クダガン
 ブセファランドラ sp. ブラウニーパープル
 ブセファランドラ sp. ブラウニーゴースト
 ミクロソラム・ウエンディロフ
 ウォーターフェザー

Lilaeopsis brasiliensis
Cryptocoryne parva
Cryptocoryne wendtii 'Green'
Cryptocoryne wendtii 'Brown'
Cryptocoryne crispatula var. *balansae*
Helanthium bolivianum 'Angustifolius'
Bucephalandra sp. 'Kedagang'
Bucephalandra sp. 'Brownie Purple'
Bucephalandra sp. 'Brownie Ghost'
Microsorium pteropus 'Windelov'
Fissidens fontanus

魚種 ラスボラ・アイントベニー
 サイヤミーズフライングフォックス
 オトシンクルス
 ヤマトヌマエビ
Rasbora einthovenii
Crossocheilus oblongus
Otocinclus sp.
Caridina multidentata

※はADA生体製品ラインナップです。

NATURE IN THE GLASS

Daisuke Inoue W1800×D600×H600

長期維持で 水草の魅力を引き出すレイアウト

構図

傾斜を強くつけて 奥行きと抜けをつくる

A 根張りを考慮した底床の敷き分け

アマゾンVer.2の上にトピカルリバーソイルを重ねて敷き、化粧ソイルの範囲でも水草育成ができるよう工夫。

底床に石を埋めて底上げし、レイアウトの奥から手前に向かう傾斜を強調している。そこに細い流木を絡ませることで抜けの空間ができています。



2022年10月14日 撮影

植栽

水草の特性を生かした植栽



B プセファランドラ

活着性のあるプセファランドラを構図の万天石に直接巻き付けて植栽。石の溝だけでなく石肌にも活着させて植栽量を増やしている。



C クリプトコリネ

クリプトコリネの植栽範囲は二種類のソイルを重ねてあり、長期維持に向けて、栄養素を吸収しながらも比較的緩やかに生長するようにしている。

完成

水草の生長によって感じる水中表現



D 活着性水草で 流れの速さを表現

中央付近にはプセファランドラが万天石にしがみつこうように点在して活着し、石の間を流れていく水の速さをイメージさせる。



E 長期維持が水景に一体感を生む

時間をかけて育成したマイクロソラム・ウエンディロフとウォーターフェザーが流木を覆うように繁茂し、流木とともに長い時をそこで過ごしてきた感じが感じられる。



F テープ状水草の揺らぎで水中の印象に

背景のテープ状水草が水流になびいて揺れ、葉と葉の間を魚が泳いでいく様子は水中の印象をより明確にしている。



Special Feature

「ツクル」は楽しい!

水槽の大小に関わらず、その中に自然景観や環境を再現することが、ネイチャーアクアリウムやパルダリウムの醍醐味であり、そこには僕等だけの大自然が広がっています。だから「ツクル」って楽しい! 2024年春、ADAの新プロダクトで「ツクル」ことを僕らと一緒に楽しんでみませんか?

没頭する特別な 至高の時間。

つくることは楽しい。頭の中に思い描いたイメージを限られたスペースの中にどのように作り上げていくのか、ワクワクと心を躍らせる。細部までこだわり、自分だけの世界を生み出す至高の時間。今春新たに登場するADAの化粧素材シリーズ「KUMU」で創作意欲を掻き立て、クラフトライフをさらに楽しみましょう。



趣味に没頭する時間は、こんなお気に入りの作業台で、好きなものに囲まれながら過ごしたいものです。

「KUMU」の 組み合わせ例を紹介

Special Feature
「ツクル」は楽しい!



「化粧素材」という新たな製品企画

新化粧素材シリーズ「KUMU」の開発担当者であるADA水景クリエイター 井上大輔に、「KUMU」の魅力と開発の経緯を語ってもらいました。



「KUMU」パッケージ

1パックの量は素材ごとに試しやすい適量で設計。現地では4カテゴリ計24種類のラインナップを発売予定。



AJ: 「KUMU」シリーズについて、製品企画に至ったきっかけを教えてください。

井上: きっかけは、自分が小型水槽をレイアウトしていたときに「どんなサイズの水槽でも、時間をかけてこだわったレイアウトをつくりたい」と思ったことです。私は水景クリエイターとしてW1,200mm水槽やW1,800mm水槽などの大きな水槽をレイアウトする機会がありますが、小型水槽をつくっているときに「小さな水槽だから簡単につくろう」ということではなく、時間もかけるし構図も悩むし、やることは変わらないんですね。そんな中、たくさんの種類の素材から組み合わせでレイアウトできたら楽しいな、と思ったことと粒度の違う砂や砂利もあれば細部のつくり込み表現ができるなど思い製品企画を進めました。

AJ: なるほど。実際に井上さんがレイアウト経験の中で感じたことがきっかけになったんですね。

井上: そうですね。そこから素材を好きに「選ぶ・組み合わせる・つくり込む」という

体験ができる化粧素材シリーズという構想を練っていきました。また、ネイチャーアクアリウム、パルダリウムといったレイアウトスタイルや水槽サイズなどに関係なく景観をつくることの楽しさや地球が生み出した天然素材で大地を創造するロマンも感じて欲しいですね。

AJ: ユーザーの方への初公開は昨年末行ったイベントでしたね。さまざまな種類の素材が整然と並んでいる様子に注目されていた方も多いと思います。

井上: 「KUMU」のディスプレイは、自分が子どもの頃に好きだったプラモデルの売り場を参考にしているところがあります。最近になってまたプラモデル制作を始めたのですが、プラモデルのツールや塗料を売っているコーナーって大人になっても楽しいんですよ。そういったワクワク感に倣って、集めた数十種類の素材を各カテゴリに分け、わかりやすくできるようアルファベットと番号で表記しました。流木はWO-01～、石はST-01～、砂利はGR-01～、砂はSA-01～となっています。

少しずついろいろな組み合わせを試せるような容量となっているので、素材を選ぶ段階から楽しんでいただけたら嬉しいです。

AJ: パッケージの制作でも井上さんの思いや経験が生かされていたんですね。ユーザーの方にとって手にとりやすく試してみたいようなものになっているのかなと感じました。

井上: 手にとりやすいというのは、今までのADA製品にはない特長だと思います。そのためにパッケージも相当こだわりました。製造スタッフが呆れるくらい(苦笑)。企画当初は自分で小分けにしたサンプル素材を各部署の人に見せて回っていたんです。でも、移動の最中や素材をよく見たいと思って触っているうちに中身が擦れて汚れてしまう。このままの包装だと店頭でも同じことが起こるだろうし、パツと見て汚いと思う人もいられない。そうならないよう、試行錯誤を繰り返し、砂利と砂は脱気、石はシュリンク包装にして、素材を見やすく手にとりやすいクリーンなイメージになるよう工夫しました。

AJ: 最後に、「KUMU」の今後の展開について教えてください。

井上: 「KUMU」の組み合わせや楽しみ方は自分の中でもまだまだ未知数です。まずは、「KUMU」の世界観を伝え、さらなるこだわりを表現するために自分自身がユーザーとして「KUMU」を楽しんでいけたらと思っています。ゆくゆくはノウハウなどをまとめた「KUMU マガジン」なども発行したいと考えていますので、これからの展開にご期待いただければと思っています。

KUMU専用の店頭ディスプレイ
色も形もさまざまな素材群だが、カテゴリごとに並べることで素材を一覧できる。どんな素材があるのか見やすく手にとりやすいようにしており、素材を眺めながら組み合わせを考える時間も楽しんでいただきたい。

※写真は「ADA Welcome Day」での展示例です。実際の店頭ディスプレイとは異なる場合があります。



Mini NATURE AQUARIUM サイズを超えた 水草体験を。

2024年春先、小型水槽で水草育成をはじめするために必要な器具がセットになった「ミニNAセット150」がリリース予定です。置き場所を選ばない小型のシステムでありながら本格的なレイアウトも楽しめるようにCO₂添加も可能となっています。ここからは、作例やシステムを構成する主要器具類をご紹介します。

Special Feature
「ツクル」は楽しい!



本格派ミニネイチャーアクアリウム

小さな水槽空間でも前景・中景・背景と植栽スペースをしっかりと分けすることで、奥行き感のあるレイアウトをつくるのが可能です。無機質な金属の間に水槽を設置することにより、ミニ水槽内に息づく小さな生命の躍動感はより際立ちます。

DATA

水草：グロツスティグマ (BIO) / プセファランドラsp. シンタン (BIO) / プセファランドラsp. ラマンドウ / ベトナムゴマノハグサ (BIO) / ミリオフィラムsp. ガイアナドワーフ (BIO) / グリーンロターラ (BIO) / パールグラス (BIO) / ロターラ・マクランドラ グリーン (BIO) / ロターラsp. Hra (BIO) / ロング・ヘアーグラス (BIO)
素材：プランチウツドS
底床：アクアソイル-アマゾン Ver.2

Mini NATURE AQUARIUM

ミニNAならではの充実システム

ミニNAセット150は小型ではありますが本格的に水草を育成できるシステムになっています。ここではADAのノウハウから生まれた専用器具を含める充実のシステムをご紹介します。

1 ベルグラス・ミニ

ミニNAを企画するにあたり専用に開発されたCO₂拡散器。小型水槽でのCO₂添加過多を防ぐために試行錯誤した末にたどり着いた形状は、これまでにないユニークなデザインとなりました。まるでリンドウ（英語でベルフラワー）の花を逆さにしたような形が製品名の由来に。

全長：95mm



※製品の仕様と異なります。



カウンターとしての機能も

本体内部のL字状の管から放出されるCO₂の気泡は、最初に添加量の目安となる滴量を測定するカウンターとしての機能も果たします。気泡による測定のためスピードコントローラ一部での添加量の調整も簡単。

新たなCO₂添加方式を採用

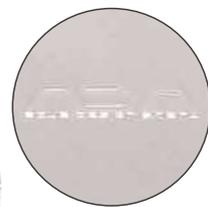
本体内部にCO₂の気泡がゆっくりと満たされていくことで、徐々に水中に溶かし込んでいく添加方式を採用。これにより、小型水槽で生じやすいCO₂添加過多を防ぎます。



3 メタルベース・ミニ

専用のステンレス製ベース。スーパージェットフィルターなどにも使用されているSUS304を採用。天面の中央にADAロゴを刻印。

大きさ：W150×D150×H30 (mm)



2 キューブガーデン

従来のキューブガーデンと同様の高品質クリアガラスを採用。小さな空間を最大限広く見せるためにガラスの厚みは、ADAの水槽の中で最薄となる4mmを採用。これにより、小さな水槽スペースを限りなく広く美しく見せます。サイズはW150×D150×H220 (mm)



メタルカバー・ミニは液体栄養素の添加や給餌がしやすいよう左右側面にスペースを空けたデザインを施している。



4 メタルカバー・ミニ

マグネットライトGを設置するための専用ステンレス製フタ (SUS430)。サイドは空いているため、フタを移動させることなく簡単に液体栄養素の添加や給餌を行うことができます。

大きさ：W150×D150×H30mm (mm)

5 マグネットライト G

高光度白色LED (グリーン球) を20灯搭載した10Wの小型LED照明。光量は6段階調整可能。メタルカバー・ミニに装着することでミニライティングシステムが完成します。メモリー機能によりタイマー管理にも対応。

※USB電源アダプターは付属していません。市販の5V2AのUSBアダプターを別途お求めください。



マグネットライトGはメタルカバーミニに装着することで観賞時の眩しさを軽減でき、水槽との一体感も生まれます。



6 ストリームポンプ ミニ

小さな水槽内で水草育成を行うために適度な水流を生み出す小型水中ポンプ。静音性にも優れておりデスク周りなどの身近なスペースに設置していても気になりません。

大きさ：W38×D42×H40 (mm)

※USB電源アダプターは付属していません。市販の5V1AのUSBアダプターを別途お求めください。



ポンプ底面のツマミでレイアウトに応じて適した水流に調節することが可能です。

Special Feature
「ツクル」は楽しい!

※開発中のものにつき、実際の製品とは異なる場合があります。
※CO₂レギュレーターは「CO₂システム74-DA」として発売予定。

ミニ水草レイアウトに オススメの生体製品

キューブガーデン(W150×D150×H220)などの小さな水槽で水草レイアウトをつくるためには生長が比較的緩やかで草丈があまり高くないタイプの水草を選ぶのがポイントです。クリーンな環境で育てられた組織培養水草「BIOみずくさの森」は株を小分けにしてピンセットで緻密な植栽がしやすいため、小型水槽の水草レイアウトにも適しています。こちらでは、「BIOみずくさの森」から小型水槽にオススメの生体製品を16種類ピックアップしてご紹介します。



前景に
オススメ

**BIOみずくさの森
プレミアムモス**

構図素材に着生させたり、小石に巻き付けたものを散らしたりして用いる。モコモコと繁茂した群生は長い時の流れを感じさせる。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ヒドロコティレ・ミニ**

前景～中景に適した小型のチドメグサの仲間。化粧砂に植えても良く育つため、化粧砂と敷き分けの際のディテール表現にも。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
インディアン・クラススラ**

小さく細長い葉が繊細な印象を与える。トリミングを行ない理想的な密生度に仕上げよう。過密や影の部分では上に伸長するので注意。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
パールグラス**

硬度が上がりにくい水槽にも導入でき、透明感ある繊細な葉が魅力。トリミングにより茂みの高さや形を調整しやすく小型水槽では中景～背景で使用できる。



前景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ショート・ヘアグラス**

草原のような演出でお馴染みの前景草で、2、3cmの高さでキープしやすい。水の通りが良く光が当たる開けた場所に植栽しよう。



前景に
オススメ

**BIOみずくさの森
キューバ・パールグラス**

硬度が上昇しがちなレイアウトでも活躍できる前景草で、密生する小粒な丸葉が可愛らしい。深めの植栽することがポイント。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
スタウロギネ・レペンス**

鮮やかな緑と草丈の低さが特徴。生長は早くないが、密生した後に占有範囲を広げるため適宜摘み取ることでレイアウトを維持したい。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ロタラ・マクランドラsp.ミニ**

赤く柔らかな葉が魅力的なロタラ。小型水槽に導入しやすいサイズでレイアウトのアクセントとしても優秀。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ミリオフィラムsp. ガイアナドワーフ**

ミリオフィラムの仲間でも特に小型種。繊細なライトグリーンは小さな群生でも美しくレイアウトを飾る。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ロタラ・インディカ**

丈夫で育成しやすい暖色系のロタラ。その温かみある色合いは多様な有茎草と共演できるスペシャリスト。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
エキノドルス・テネルス**

小型水槽では前景～中景で活躍する。個性的なブッシュ感は石素材の強すぎる印象を和らげることに適している。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
クリプトコリネ・ルーケンス**

小型のクリプトコリネでシャープな葉が印象的。生長はとても緩やかに長期維持しやすい点も小型水槽では魅力的。



中景に
オススメ

**BIOみずくさの森
プセファランドラsp. シンタン**

活着性水草であり耐陰性もあるため、流木の枝や石の間などで活躍する。鬱蒼としたジャングルレイアウトでは選択肢に入りたい。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
ロタラsp. ワヤナード**

グリーンロタラをサイズダウンしたような姿で小型水槽でも重宝する。トリミングに強く整えやすい。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
アルテラレンジ**

個性的な姿をしたホシクサの仲間、ひたすら上に伸長する。過密で通水が滞ると溶け始めることがあるので余裕ある植栽密度を心掛けたい。



背景に
オススメ

**BIOみずくさの森
アルテラナンテラ・レインキー ミニ**

大ぶりな葉と鮮やかな赤色が目を引く有茎草。その個性をいかすために、グラデーションや補色効果を狙った植栽プランを考えたい。

水景クリエイター。それはADA社内における資格であり、誰でもなれるわけではありません。こちらでは、現在活躍中の5人の水景クリエイターに興味や今後の目標などをインタビューし、彼らの人物像に迫っていきます。

Text by Seifiro Chinen Photograph by Masatomi Takato



自然と作為の調和が ネイチャーアクアリウムの 究極のテーマ

ADA水景クリエイター荒木大智。現在は海外貿易部に所属。今回は、今年入社12年目を迎える荒木の天野 尚との思い出や今後目指す水景について探ってみようと思う。

「短い期間でしたが、リスボン海洋水族館などで天野尚のレイアウト制作に携わり、多くのことを学びました」そう語る荒木の目を見てみると、学生時代から抱き続けてきたネイチャーアクアリウムの創始者である天野尚への強い憧れと尊敬の念が伝わってきた。2015年1月に天野率いる制作チームと共に40mのネイチャーアクアリウムの制作に携わった荒木。数々の困難を乗り越え同年4月にオープニングセレモニーを迎えた際に、天野に「よくやったな」という一言をかけてもらった。それと同時にメンテナンスタッフとしてポルトガル現地に4年余り滞在することが決まっていた荒木に対して天野は「水草が整い過ぎだからもっと自然の野性味が欲しい。でもただ放っておけばいいわけではない」とアドバイスを残した。これを機に「自然の持つ力を借りて人の制御外でつくり上げる。

この自然と作為の調和がネイチャーアクアリウムの究極のテーマの「一」だと気づきを得たという。現在は休日に興味として生け花を嗜んでいる荒木。生け花をはじめたきっかけは「見た目の美しさだけでなく日本文化としての神性や伝統にとっても興味があったから」だと言ふ。「長い間何らかのジャンルが続くということはその根底に普遍的な価値があると感じしており、そこはネイチャーアクアリウムにもつなげていきたいと考えています」と語る荒木。また、「形ではなく創作者の想いを込める

という点がネイチャーアクアリウムと生け花に共通している本質なのではないか」と最近考えているという。最後に今後つくってみたい水景について聞いてみた。「まだまだ道半ばで抽象的になってしまっていますが、自らの感覚を大事にする先に少し何かが掴めそうな気がしています。今後は形ではなく自らの想いのこもった水景をつくれるようになりたいですね」。趣味を通じて自らの内から湧き出てくる感性を磨き続けることを惜しまない荒木の今後の水景が楽しみです。



A リスボン海洋水族館にて、制作中は天野からさまざまな貴重なアドバイスを受けた。 B 荒木自身による作品。自らの感性を頼りに「美」を追求する姿勢は水景制作においても変わらない。



UMEDA



ADA LAB UMEDA Official Instagram



ワークショップカウンターを中心とした店舗で2mのアクアテラリウムは必見。

充実したワークショップで パルダリウムを楽しもう

2023年4月より大阪・阪急うめだ本店8F「GREEN AGE」にオープンした「ADA LAB UMEDA」は、東京の「GINZA店」に続く二店舗目であり関西初上陸です。第1回目となる今回はADA LAB UMEDAで受けられるサービスや魅力をお伝えいたします。ADA LABといえば、ミニパルダリウムを制作するワークショップが大きな魅力の一つです。ワークショップではジュエルオーキッド、アヌビアス、食虫植物などのメインプランツやその他数種類の植物、各種レイアウト素材から自由度の高いミニパルダリウムを制作することができます。スタッフが植物の特性や管理方法をお伝えしながらお客様に制作していただきますので、初めての方やお子様でも楽しんでいただけます。スタッフによって制作・管理されたレディメイド品は、植物たちが根を張り、安定した状態であるため、購入後の育成も容易でプレゼントにもおすすめです。ADA LAB UMEDAで制作、購入されたパルダリウムはリペア・メンテナンスサービスも行っており、植物の生長に合わせてトリミングや株分けをしたり、より大きなガラスケースにつくり替えたりすることもできます。ADAの最新情報やグッズがそろい、より充実した「ADA体験」をぜひ関西でもお楽しみください。皆様のご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



ワークショップでは1作品をご友人などと一緒に制作することも可能。カスタマイズなどお気軽にご相談ください。

STAFF'S PICK UP



ずらりと並ぶ多彩なレイアウトスタイルのミニパルダリウムから、ガラスケース栽培のさまざまな可能性を感じていただけることでしょう。

※ADA LAB GINZAは東急プラザ銀座改装のため、現在の場所での営業は2024年1月21日までの予定となっております。なお移転先の情報につきましては、ADA公式HP、SNSをご覧ください。



Aqua Design
Amano
Laboratory

Report

Text
Sosuke Yoshida

Vol.01

ADAの体験型コンセプトショップ「ADA LAB」。現在、東京の「GINZA店」大阪の「UMEDA店」、中国にある「BEIJING SKP店」の3店舗を展開中。各店舗の旬な情報を現地スタッフがリレー形式でお届けします。

Closeup Jungle Plants

クローズアップジャングルプラント

#06 Leptochilus sp.

Text: Yasufumi Shibata

水草などの葉やランの花といった植物の持つ特徴的な姿をガラスケース栽培で楽しむことのできる生体製品「ジャングルプラント・シリーズ」。製品ラインナップの中から毎号1種にクローズアップしてその生態と作例を紹介します。お気に入りのジャングルプラントをシンプルなレイアウトで楽しみましょう！



DATA

■ **Jungle Plants** …… レプトチルス sp. 1カップ

■ **Other Plants** …… ヤマゴケ

■ **Case** …… ネオガラスエア W200×D200×H300(mm)

■ **Materials** …… 枝状コルク 1本

Closeup Point



① 植栽はテララインで確実に固定します。



② 丈夫な根が次々とコルクの肌へ伸びていきます。



③ ぐび草ミストで栄養補給するとより健康的に。

テラやパルダで楽しむシダの仲間

今回クローズアップしたのはレプトチルス sp.です。マイクロソラム・プテロプス(レプトチルス・プテロプス)の仲間、水上栽培で楽しむことができます。水上形態のマイクロソラム・プテロプスよりも葉は硬質で丸みを帯びた姿をしていて、細かな葉脈が美しいのも特徴です。多湿を好むためガラスケース栽培に向いており、生長に適した環境下では流木やコルクなどに活着する根張りのスピードはマイクロソラム・プテロプスやボルビティスと比べても早く、太めのしっかりとした根を伸ばします。作例では熱帯雨林の中で木肌に力強く活着する様子をイメージしました。

Love ADA GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

#18

LIGHT SCREEN 60

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。



あの色を私も

あの背景の色はどうやって撮影しているのだろう。こんな疑問、アマノブルーに対して抱いたことはないでしょうか。ライトスクリーンはその憧れの色を再現できるグッズです。基本的な使い方としては水景に合わせて白、上青、下青の3通りでの演出ができます。バックスクリーンとは異なり、発光していることで観賞時の水の透明感や撮影時の情緒感が演出され一度使ったら手放せないほどです。単にON/OFFでなくダイヤル調光できる仕様もお気に入りの点です。自身の

水景でも影の部分が好きなので背景や水面付近のハイライトと中景などのシャドーの部分がバランス良く撮影できるよう微調整しながら調光しています。また使用する、自宅に設置する上での満足感や充実感が得られる製品デザインとしてインパクト抜群のこれ以上ないサイズで特大ADAロゴが入っている点もファンとして嬉しいのです。水景の制作、管理の先にある観賞や撮影の楽しみを増幅してくれ、アマノブルーをも手中に得られるライトスクリーンが私は好きです。

Text: Ryuji Ogawa

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

「雪の自然造形」

第 35 回

文・写真／小川 龍司

常日頃からネイチャーに身を置くライターが身近な自然をテーマに季節ごとのコラムを発信していきます。



こ れは雪まくりと呼ばれる雪国でも特定の条件下でのみ観察できる自然現象です。写真にあるように白い出汁巻き玉子のような回転復層の構造を持つ天然のゆきだるまです。このとき、最も大きいもので直径400mmほどでした。つくられ方としては原料となる積雪と動力である風は当然として、雪の温度（適度な湿り具合）や積層の仕方といった条件が重要となります。これは新潟砂丘にある砂丘湖付近で撮影しました。ここは日本海から温かい空気が運ばれやすく、地表付近には時折強い風が吹き付けます。砂丘ですので坂道となっており、転がって形成される性質上、発生に優位にはたらくように、冬鳥の観察のために高頻度で通い詰めていると毎年のように観察ができました。地域によっては珍現象として見つけると幸運をもたらすとも言われています。雪があれば世界中のどこでも発生するため英名ではSnowrollersや

Snownutsなどと形からのネーミングがされています。日本でも雪俵と呼ぶ地域もありますが、雪まくりという、あたかも誰かがつくっているかのような呼び名は面白いですが（天狗がつくっているとされる地域もあります）。実際に好条件で急斜面の上から30cmほど雪をまくるように剥いで転がすと同様の雪塊をつくることもできます。転がしてつくってみると、勢いよく転がってくれるような急勾配の坂でなければ一般的なロールケーキサイズ程度に留まります。やはり人が意図しても自然の力には及ばないのかもしれない。自然がつくる造形美ですね。身近な生き物を発見すること、名前を知ることなどが個人的にすこぶる好きですが漠然と、純粹に雪まくりのような自然現象などを探してみることも楽しいです。雪まくりに限らず身近な環境でどんな自然現象が発生しているのか探してネイチャーへかけてみてはいかがでしょうか。

INFORMATION

NATURE AQUARIUM GUIDE W600
ネイチャーアクアリウム ガイド W600

小冊子「NATURE AQUARIUM GUIDE W600」を全国のADA販売特約店にて配布いたします。新たにW600mm水槽でのレイアウト制作工程を中心に、アクアスカイ RGB IIなど最新のADA製品による水景の作り方を紹介したガイドブックです。新しい水景の創造にお役立てください。

ADA NATURE AQUARIUM ステップアップキャンペーン

2023年12月20日(水)～2024年2月20日(火)
キャンペーン対象：キューブガーデンにご使用の周辺器具が対象

キューブガーデン買い替えキャンペーンに続き、キャンペーン第2弾として、キューブガーデンにご使用いただく周辺器具のステップアップキャンペーンを行います。現在、ADA ネイチャーアクアリウム製品をご使用いただいているユーザーの方を対象に、特別価格にて最新フラッグシップモデルへのステップアップ購入が可能となります。ADA ネイチャーアクアリウムの製品群はトータルシステムとして使用することで、その真価が最大限に発揮されます。この機会に弊社製品のステップアップとモデルチェンジをご検討ください。

アクアスカイ RGB II 60、タワー、スーパージェット、フィルター各種、メタルパイプフロー各種へのステップアップが対象となります。詳細についてはQRコードよりアクセスください。

STAFF CREDIT	Publisher 天野 しのぶ	Art Direction NATURE AD DESIGN	Design 丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢	Published by 株式会社 アクアデザインアmano https://www.adana.co.jp
AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD. ©2023 Printed in JAPAN	Editor 杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／吉田 壮佑／知念 政次朗	総監修 ・大岩 剛／ 写真監修 ・阿部 正敬		Printed by 株式会社山田写真製版所

Pleasure of Creation

ADA SPIRIT 2024



ADA
aqua design amano